



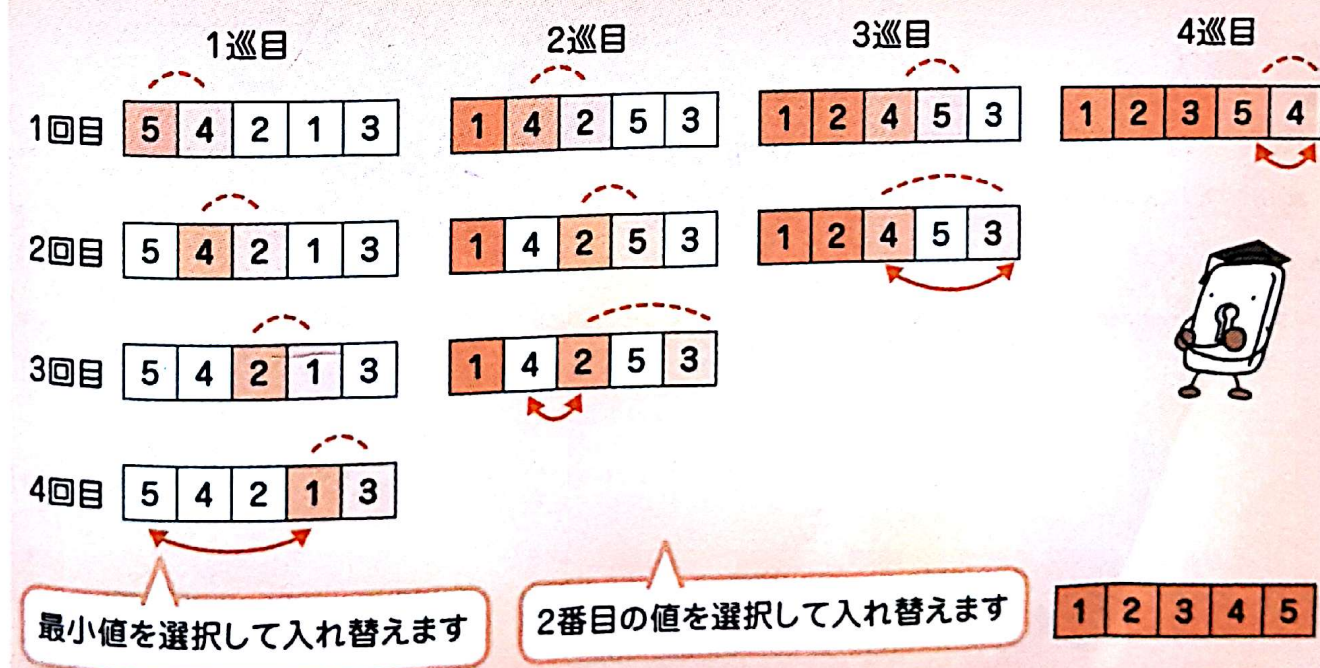
整列はデータを並べ替えること

整列（ソート）とは、データを大きい順または小さい順に並べる処理のことです。大きい順に並べることを降順、小さい順に並べることを昇順といいます。並べ替えの方法としていくつかの種類が知られています。

① 選択法

選択法（最小値選択法、最大値選択法）は、最小値（最大値）を探して順に並べていく方法です。

まず、先頭から順に最小値を探します。この最小値を1番目のデータと入れ替えます（1巡目）。次に、残りのデータの中で最小値を探します。これを2番目のデータと入れ替えます（2巡目）。これを繰り返して、順に並べるわけです。たとえば、「54213」を昇順に並べ替えてみましょう。



選択法では、比較回数は、 $(n-1) + (n-2) + \dots + 1 = n(n-1)/2$ 回になります。